

# 先人の心が生きてる郷土品 第11回大館市郷土品まつり



▲市民体育館で行われた商工展には、連日大勢の人が訪れ、地元の産品などをじっくりと見学していました。

「先人の心が生きてる郷土品」をテーマに、11月2日から4日までの3日間、第11回大館市郷土品まつりが開催されました。会場となった市民体育館や城西体育館などには、高度な技術を駆使した製品や新しい感覚をとり入れた商品、品質のよい農産物、子供たちの図画や書道などが展示され、訪れた人たちの感心を集めていました。



◀市民参加のセリ売り。セリ人の威勢のいい掛け声に、子供も負わずに大ハッスル。

▶農協まつりで行われたとろろめし早食い競争。新米あきたこまちに大館特産の山の芋という最高のとろろめしでしたが、味は分かったかな。



▶市場まつりでは、新鮮な魚貝類や野菜が安く買えるとあって、朝早くから大勢の市民でにぎわいました。



◀市民体育館では、アイドルタレントのコンサートも行われ、商工展を盛り上げました。



◀力作がズラリ展示された婦人会館まつり。訪れた人たちは、作品の素晴らしさにびっくり。